

ちとせ ふれあいニュース

年度末を迎えて

自治会長 廣瀬 照雄

新型コロナウイルスがまん延して以降、人前でマスクすることが当たり前となつています。先日、外出先である人から声を掛けられたのですが、しばらく誰かと考えてしまうことが二度ありました。気づくのが遅い自分がもうろくしたのか、それとも相手が年老いたのか？ マスクをして帽子でも被っていたら本当にわかりにくい世の中です。

さて、令和三年度の自治会活動は、二年続きで敬老会や運動会などの行事は、中止を余儀なくされ、町民同士がふれ合う場がなくなりましたが、四月には千歳町が指定棚田地域に指定され、四集落で新たな組織が立ち上がり、棚田を守っていく活動が始まっています。

また、新年には、出雲大神宮にも協力をいただき、成人式をお迎えになった3人に、新たな旅立ちをお祝いすることが出来ました。

子育て事業としては、通学する子どもたちの見守り活動用に反射ベストを新調し、各区に配布しました。先日、

国会である地元議員が子育ての大切さを熱く述べていました。少子化が加速する中で将来を担ってくれる子どもたちを地域がしっかりと支えていくことは大切なことです。

コロナ禍の中、北京オリンピックが開催され、多くの日本選手のメダルストが誕生しました。予想どおりの選手もあれば、残念ながらメダルに届かなかった選手もあります。スキージャンプの高梨選手、フィギュアスケートの羽生選手、スピードスケートのパシュートの高木選手に予期せぬアクシデントが起きました。いずれもベテラン選手で経験も豊富、油断などするはずもないのに、あんなことが起きるのには本当に考えさせられました。競技の後、チームメイトに囲まれる光景を見て胸が熱くなりました。

コロナ禍で、人とのふれあいや絆がいかに大切であるかを痛感させられるシーンでした。

予期せぬことが起きてコロナが一気に退散とはいかないと思いますが、人



発行元 千歳町自治会
発行責任者 廣瀬 照雄
千歳町千歳垣根二一三
TEL 二二・〇六八二

新成人

おめでとうございます

人とが触れ合える場が一日も早く戻ってくることを願って止みません。

亀岡市成人式が一月十日成人の日に、サングスタジアムにて新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じた中、亀岡市の今年の新成人九八一名の内、約七五〇名が出席して盛大に開催されました。千歳町からは新成人三名全員が参加されました。千歳町自治会は今年度から「新成人お祝い事業」を創設し、新成人の皆さんにお祝い金をお渡ししました。新成人の皆さんの今後のご活躍をご期待いたしますと共に、健康で実りのある人生を進んで行かれることをご祈念申し上げます。

『二十歳の抱負』

◎出雲区 杉島 梨夏さん

私は今までの人生、周りの環境と支えのおかげでここまで成長してこれた事、二十歳をむかえ改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は短期大学を卒業し、二十歳という節目から社会人になります。ありがたい事に将来の夢である職に就くことができました。今は不安も大きいですが、自分の勤めたかった職につけることを誇りに精一杯

社会人として成長し、周りの方に気持ちよく、笑顔になっていただけるような人材になりたいです。

◎国分区 安藤 希美さん

コロナが流行する中、不安もありましたが、令和四年一月十日に無事成人式を迎えることができました。

ここまで育ててくれた両親や周りの方々に感謝し、これからは社会人としての責任と自覚を持ち、何事にも一生懸命頑張っていきたいと思えます。

◎国分区 神門 玲稀さん

成人を迎え、大人の仲間入りとなりました。

二十歳の節目を迎えこれから社会人として自覚と責任感を持ち行動できるように心がけていきたいです。

今後は何事にもチャレンジ精神を忘れず努力して行こうと思えます。



『宇津根橋開通式』

一般府道郷ノ口余部線宇津根橋は、昭和三十三年度に架橋されてから六十年以上が経過し老朽化が著しく、幅員が狭く歩道がなかったことから、通行の安全性確保などのため平成二十六年から橋梁の架替工事が行われてきました。今般工事が完了し、去る二月二十三日（水）に開通式を行い供用が開始されました。

当日は、午前十時半より亀岡川東学園にて式典が執り行われ、三ツ辻太鼓の演奏や京都府知事の式辞、関係各位の祝辞の後、亀岡市長より挨拶がありました。その後、千歳町の出雲風流花踊りが行われ開通式典に花を添えましました。

その後、宇津根橋現地に移動し、あさひ太鼓のオープニング演奏の後、テープカット、くす玉開披が行われ、川東地区から五組の三世代夫婦ができたばかりの新しい橋を出席者と共に渡り初めを行いました。

千歳町からは小口区の名倉宗男様御家族が出席されました。

新しい橋ができ、川東地域から国道方



面へ月読橋、保津橋、宇津根橋の三つの橋がこれで全て新しく広くなり、自動車の運行や自転車の通行も安全にスムーズになりました。

へそこよ

ふれあいニュースでは、随時、千歳に移住して来られた方をご紹介しています。
今回は、国分区の小池順之さんからの寄稿文です。

令和元年に篠町より家族五人+超大型犬一匹で引っ越してまいりました。現在は犬二匹です。

なぜ篠町よりもさらに奥の千歳町に来たか？

私たちは元々、京都市内に住んでおり今から約十年前に私の祖父母が元々住んでおりました篠町の家に移り住みました。ですが長男の小学校進学を前にした五年前、安詳小学校がかなりマシな環境になってしまいい、小規模でどかな環境で育てたく亀岡市内を色々探し、川東学区にたどり着きました。しかし土地探しに一年かかり、土地の申請などにも時間がかかり、やっと二年前の二月に引っ越しが完了いたしました。ちょうどコロナが出た頃になりました。引っ越しができた為、子供達と犬も家に閉じこもる事もなく、広い庭や近所の七谷川やさくら公園でストレスを溜めることなく過ごせましたし、ご近所の方々も温かく迎えてくださり、改

めて良い所に引っ越しができて良かったと思います。

家は完成致しましたが、外構を夫婦協力して自分たちで少しずつ作り上げている最中です。犬の散歩では近所を散策がてらウロウロとしております、超大型犬のバーニーズマウンテンドッグという珍しい犬種ですので散歩中みかけたら声をかけてくださったら嬉しいです。

今後とも家族五人+犬二匹で賑やかな一家ですが、どうぞよろしくお願いたします。

消防出初式

一月九日に旧一の宮幼稚園グラウンドにおいて、亀岡市消防団千歳分団の出初め式が自治会長、消防纏会理事を始め、各区分長など多くのご来賓の出席のもと、団員三十名が出動し開催されました。

日頃、私達の生命と財産を守るために、日常の防火防災啓蒙活動や有事の際の迅速な活動など、お仕事を御持ちの中での献



身的な活動をしていただいている消防団の皆さんに感謝を申し上げます。令和四年も千歳分団の皆さんには、私達の千歳町を災害や火災から守っていただくと共に、本年が災害や火災のない平穏無事な一年でありますことを祈念いたします。

また、亀岡市消防出初式及び京都府消防定例表彰式において千歳分団から次の皆さんが表彰されました。受賞おめでとうございます。

- 亀岡市長表彰 精勤章
- 分団長 森川 穰治 (中区)
- 亀岡市消防団長表彰
- 一班班長 安藤 俊宏 (国分区)
- 京都府消防協会亀岡市支部長表彰
- 一部部長 廣瀬 友則 (江島里区)
- 丹波地方消防連絡協議会長表彰
- 二部部长 廣瀬 正博 (出雲区)
- 京都府知事表彰 精励賞
- 副分団長 越野 慶吾 (小口区)
- 京都府消防協会会長 感謝状
- 前分団長 山田 憲一 (中区)

子ども会クリスマス会

子ども会 会長 西村 創達

コロナ禍の中ではありましたが、ワクチン接種が進み少し落ち着きを取り戻してきた昨年の十二月二十一日、千歳町子ども会でクリスマス会を開催しました。約四十名の子ども達が集まり感染拡大防止を考

慮し、検温、アルコール手消毒、マスク着用、換気などを実施し、なるべく接触が軽減できる遊びやゲームをと思い、お題を絵に描いてもらって次の人に伝えていく、お絵描き伝言ゲーム、あとビンゴゲームを楽しみました。お絵描



き伝言ゲームでは子ども達は大人には描けない夢のあるカワイイ絵を描いていて、すぐステキな絵がたくさんありました。コロナ禍で色々地域行事が中止せざるを得ない状況です。が、少しの間ではありましたが千歳町の子ども達に集って楽しんでもらえる場が設けられました。コロナが収束し、子どもが自由に遊べるように早くなればと願います。

体育振興会の事業について

体育振興会 会長 廣瀬 和樹

今年度も残り僅かとなりました。日頃は体育振興会にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

お正月から降雪があり、寒波が幾度と襲来し、また、コロナの第六波に突入したため、我々の生活に、行動にと制限が加わる中、オリンピックではひとときの熱気を感じ取ることができました。このまま草木の

芽吹きに合わせてコロナ禍が収束するのを願うばかりです。

さて、二年連続で体振の行事が中止になってしまいました。日頃から体を動かして健康増進に、また体力維持に努めようとしていて皆様の残念そうなお気持ちを感じている中、なんとかお手伝いができないかと体振で協議を重ねてまいりました。いろいろな意見が出ましたが、形状、重量の面や手軽さから、万歩計をお配りしようということになりました。ポケットに、カバンに、またストラップを着けて首からも下げることが出来ます。

万歩計を着けると、気になって歩数を増やしたくなります。すると身体活動量がアップするという研究報告もあるようです。運動すること、歩くことの意識が変わってくるかも知れませんよ。



「昨日は〇〇歩、今日は雨やし無理せんとこ、明日は〇〇歩や。」
ご活用ください。町民のみなさまの運動に微力ながら寄与できたら幸いです。

年末警戒

自主防災会 会長 野々村 豊

年末は、火気の使用が増え、空気が乾燥し、火災が多発しやすい時期です。その時期に、火災発生を防止し、地域

の皆さんに安心して年末年始をお過ごしいただけるよう、「年末警戒」を毎年実施しています。

今年度も、十二月二十八、二十九日に、新型コロナウイルス感染症対策を考えた、三密を避けることなどに配慮して実施しました。各区の自主防災会においては、午後九時〜十時の間に、公民館などに集合し、地域の巡回警戒にあたりました。その後、町自主防災会は、情報共有の後、自治会館前において、消防千歳分団と共に、石田市総務部長兼危機管理監督、木村市総務文教科長兼委員長、中村府議会議員様など、多数の方々の激励巡視を受けました。

昨今は、台風や集中豪雨など想定外の自然災害により、大きな被害の発生する地域が増えていきます。災害は忘れたころにやって来るのではなく、忘れるまでにやって来る。あらゆるところで、いつ何時、災害が発生するやもわかりません。逃げ遅れて命を落とす人も多くいます。自主防災組織などにおいて、「いつ」「どこへ」「ど

のように」避難するのかわからず、あらかじめ時系列で整理（「タイムライン」）して決めておく、自主的な避難行動を行うこと



が必要とされています。そして、地域で自主的に声を掛け合う町民協力の共同体制のもと、避難行動をする。これらのことが、安全安心のまちづくりにつながる大切なことと思っています。

とんど祭り

国分地区長 寺町 勝弘

一月十六日、国分なかよし広場で「とんど祭り」を行いました。本来は十五日の小正月に行うのですが、今年は日曜日の十六日となりました。

延べで約七十人が参加され、それぞれのお宅でお正月にお迎えした歳徳さんなどを飾った注連縄や子供たちの書き初めなどを、竹を三角に組んだやぐらとともに焼き、今年一年の五穀豊穡、無病息災、学業成就を願いました。

新型コロナウイルスの影響で豚汁などの振舞いはなく、以前とは少し交流が減りました。ウィズ・コロナで日常が変わりつつあるのかもしれないませんが、地域の絆は変わらずつながっていくことを改めて願うものとなりました。



見つけた! Vo.29
千歳のたからもの!
~小学生にインタビュー~



亀岡川東学園の二年生三人にインタビューしました。

◎廣瀬茜さん〔江島里〕

(ひろせあかね)

好きな教科は?

図工

好きなことは何ですか?

絵を描くこと

将来何になりたいですか?

海に潜って魚を観察する人

好きな給食のメニューは何ですか?

ABCスープ

家でどんなお手伝いをしていますか?

妹のお世話

今一番ほしいものは?

子ども用のパソコン

千歳町でやってほしいイベントは何ですか?

花火大会

◎寺町優之介さん〔国分〕

(てらまちゆうのすけ)

好きな教科は?

国語・体育・社会

好きなことは何ですか?

ラグビー、体を動かすこと

将来何になりたいですか?

歴史学者

好きな給食のメニューは何ですか?

カレーとフルーツポンチ

家でどんなお手伝いをしていますか?

お風呂そろうじ

今一番ほしいものは?

歴史の本いっぱい

千歳町でやってほしいイベントは何ですか?

お祭り

◎小川陽向さん〔出雲台〕

(おがわひなた)

好きな教科は?

生活

好きなことは何ですか?

誕生日にプレゼントをもらうこと

将来何になりたいですか?

みんなにスキと言われる様な人

好きな給食のメニューは何ですか?

カレーうどん

家でどんなお手伝いをしていますか?

ふとんをひく

今一番ほしいものは?

いちご

千歳町でやってほしいイベントは何ですか?

ない

読者の声
出雲台区 塚本 恭子

千歳町での生活が十年目になります。知人も余裕もなく、古い小さな家を手に入れました。朝、表に出るたび嬉しいと友人に話しました。六十歳でした。下水工事をお願いしたご近所の業者の方に、誠実とプロの技を感じて小さな手直しや屋根の修理も引き受けて頂きました。半日アルバイトを見つけて春は桜の道を行き、秋は見事な夕焼けの中を帰ってきます。

娘たちは出雲大神宮を強力パワースポットと呼び真剣にお参りし、妹は友人たちと何度も七福神めぐりを楽しんでいきます。冬の寒さの中でにぎやかなエナガの群れや、人懐っこいジョウビタキシジウガラにときめいています。

回覧板で読んだ千歳の百人一首では子供たちと亀岡牛とソフトクリームにコロナ禍のもと笑い、白いヘルメットにエールを送っています。

今後の行事予定

- 三月 二十日(日) 自治会決算総会
- 三月 二十六日(土) ~ 四月十日(日) さくらウィーク
- 四月 三日(日) 消防団入退団式
- 四月 十日(日) 京都府知事選挙
- 四月 十七日(日) 町戦没者慰霊祭
- 四月 十八日(月) 出雲大神宮鎮花祭
- 四月 二十四日(日) 愛宕神社鎮火祭

編集後記

一旦落ち着きを見せていたコロナ禍も、年初から再び猛威を振るい感染者数の劇的な増加に私達の生活も行動制限を余儀なくされています。このコロナ禍の中、基本的な感染対策を行いながらも地域コミュニティの構築に向けてどうするべきかを、自治会役員一同で模索している最中です。

令和四年にはこのコロナ禍も再び落ち着きを見せ、二年間でできなかった「町民運動会」や「七福神宝船まつり」がコロナ以前と同様に開催され、町民の皆さんが一堂に会して楽しく語らうと共にさわやかな汗を流せるようになることを願っています。ふれあいニュースも各種行事が中止になるなか、構成等に苦心しましたが皆さんのご協力により発行することができました。ありがとうございました。

令和三年度広報部会

- 部長 名倉 洋一
- 副部長 野々村 めぐみ
- 野々村 淳美・眞継 朗
- 野々村 博・水置 克之
- 小川 房嗣・西村 創達
- 安藤 茂樹・増山 新二
- 安藤 正行・廣瀬 直人
- 今西 洋希